

2021年6月1日

ウェザーニューズ、「猛暑見解 2021」を発表
全国的に暑い夏、暑さのピークは7月下旬と8月下旬
～早い梅雨明けで平年より暑い期間は長く、ダブル高気圧で猛暑に～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、「猛暑見解 2021」を本日発表しました。今年の夏(7月～9月)の気温は、広範囲で平年並か平年よりやや高く、全国的に暑い夏になりそうです。エリア別では、東日本と近畿地方は平年よりやや高く、その他の地域では平年並～やや高い傾向です。暑さのピークは7月下旬と8月下旬で、太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しが重なるタイミングでは猛暑となる見込みです。今年は7月上旬から梅雨明けする地域が多く、梅雨明けが遅かった昨年や平年よりも暑い期間が長くなりそうです。なお、関東の7月下旬、北海道の8月上旬は晴れて厳しい暑さとなる見込みです。運動をする場合などは水分補給などの暑さ対策をしっかり行い、熱中症には十分ご注意ください。最新見解は、「ウェザーニューズ」アプリまたはウェブサイト「猛暑見解 2021」からご確認いただけます。

「猛暑見解 2021」

 ウェザーニューズウェブサイト「猛暑見解 2021」
<https://weathernews.jp/s/topics/202106/010135/>

◆夏の気温は広範囲で平年並かやや高め

7月初めに太平洋高気圧が北に勢力を拡大して九州を覆い始め、7月上旬には、本州付近に停滞している梅雨前線が日本海から東北付近まで北上する見込みです。このため、今年は7月上旬から梅雨明けするところが多く、梅雨明けが遅かった昨年や平年と比べて暑い期間が長くなりそうです。

今夏(7月～9月)の平均気温は、東日本と近畿地方では平年よりやや高く、北日本や西日本、沖縄の広範囲で平年並～やや高い傾向で、全国的に暑い夏になりそうです。

7月は東北から近畿地方にかけて平年よりやや高く、その他の地域は平年並となりそうです。8月上旬から中旬にかけては広い範囲で平年並となりますが、8月下旬は平年よりやや高く、真夏日や猛暑日になる可能性もあります。9月に入っても高温傾向が続き、お彼岸の頃までは残暑が厳しくなりそうです。

なお、昨夏は、7月は涼しく冷夏ぎみになり、8月は東・西日本で記録的な高温となりました。昨年と比べると、今年は7月は気温が高く、8月は低くなる予想です。

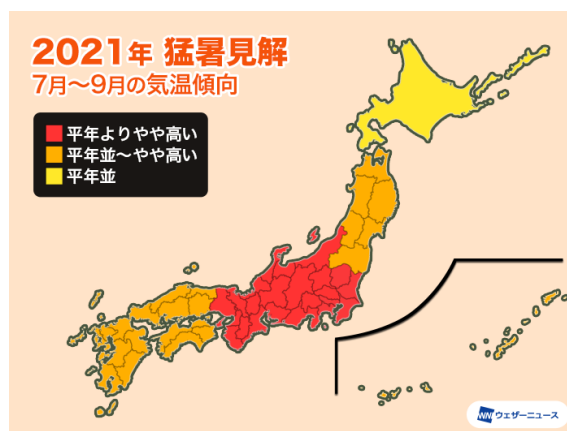


図1:夏の気温傾向

◆暑さのピークは7月下旬と8月下旬、ダブル高気圧で猛暑に

7月下旬と8月下旬は日本の上空で高気圧の勢力が強まり、広範囲で暑さのピークとなる予想です。7月下旬は東日本から東北地方で、8月下旬は西日本から東北にかけて、平年より暑い夏となりそうです。

この暑さの鍵となるのが、太平洋高気圧とチベット高気圧です。太平洋高気圧とチベット高気圧は広がる高度が違うため、チベット高気圧が日本付近まで張り出すと、太平洋高気圧と上空で重なり合って“ダブル高気

圧”となり、二つの高気圧が非常に背の高い一つの高気圧のようになって厳しい暑さをもたらします。35 度以上の猛暑日が続いたり、フェーン現象が起こりやすい場所では 40 度前後の酷暑になることもあります。

(1) 太平洋高気圧: 7月初めから日本付近への張り出しが強まる

7 月初め以降、フィリピン付近での対流活動が活発になるため、日本付近では下降流が強まり、太平洋高気圧の勢力が強まります。また、上空を流れるジェット気流が平年よりも北を流れる影響で、東日本や西日本には南から暖気が入りやすく、太平洋高気圧が日本付近に張り出し始める見込みです。



図 2: 今年の猛暑ピーク時の天気図イメージ

(2) チベット高気圧: 7~8 月に日本付近への張り出しが強まる時期がある

チベット高気圧とは、北半球の夏季にチベット付近を中心に広範囲に広がる上空の高気圧です。今夏は、日本付近で太平洋高気圧の勢力が強まる7月から8月にチベット高気圧も本州付近に張り出しを強める時期がある見込みです。

これらの太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しが重なったタイミングで猛暑となる予想です。その後、9 月にかけても暖かな空気が流れ込みやすく、秋のお彼岸の頃までは残暑が厳しくなる見込みです。

※本予報は 5 月 31 日時点のものです。最新の見解は「ウェザーニュース」アプリまたはウェザーニュースウェブサイト (<https://weathernews.jp/s/>) からご確認ください。

◆エリアごとの見解

エリア	7月～9月の気温 (平年との比較)	7月～9月の暑さ見解
北日本	平年並～やや高い	<p>7月: 気温は平年よりやや高い予想です。北海道は曇りや雨の日が多く、暑さは控えめです。東北は南部から北部へと次第に夏空が広がるようになります。梅雨明け後は安定した晴れの天気と暑さがしばらく続きます。 北海道では、7月下旬は曇りや雨の日が多く、気温は平年並になりそうです。</p> <p>8月: 気温は平年並の予想です。晴れる日が多いものの、ぐずつくことがあり、太平洋側では涼しい時期がありそうです。 北海道では、8月上旬は晴れる日が多く、平年並の暑さになる見込みです。</p> <p>9月: 気温は平年よりやや高い予想です。北海道から東北へ、段々と天気が周期変化するようになり、後半は朝晩を中心に秋の気配を感じられそうです。ただ、台風や前線の影響を受けて蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
東日本	平年よりやや高い	<p>7月: 気温は平年よりやや高い予想です。梅雨明け後、夏空が広がって暑さの厳しい日が多くなります。まだ身体が暑さに慣れていないため、暑さ対策をしっかりと行ってください。 関東では、7月下旬は晴れて暑い日が多く、8月上旬は雲が多く涼しい時期がありそうです。</p> <p>8月: 気温は平年よりやや高い予想です。晴れて厳しい暑さの時期と涼しい時期がありそうです。また雷雨が発生しやすい期間があり、お盆シーズンは熱中症や天気の急変に注意が必要です。 関東では8月下旬から9月上旬にかけて晴れて残暑が厳しくなりそうです。</p> <p>9月: 気温は平年よりやや高く、秋のお彼岸の頃までは残暑が厳しくなります。下旬以降は移動性の高気圧に覆われるようになり、朝晩を中心に秋の気配を感じられそうです。ただ、台風や秋雨前線の影響で蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
西日本	平年並～やや高い	<p>7月: 気温は平年並の予想です。梅雨明け後、夏空が広がって暑さの厳しい日が多くなります。まだ身体が暑さに慣れていないため、暑さ対策をしっかりと行ってください。</p> <p>8月: 気温は平年よりやや高い予想です。晴れて暑さの厳しい日が多くなります。一方、雷雨が発生しやすい時期があり、お盆シーズンは熱中症や天気の急変に注意が必要です。</p> <p>9月: 気温は平年よりやや高く、お彼岸の頃までは残暑が厳しくなります。下旬は移動性の高気圧に覆われるようになり、朝晩を中心に秋の気配を感じられそうです。ただ、台風や秋雨前線の影響で蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
沖縄	平年並～やや高い	<p>7月: 気温は平年並の予想です。太平洋高気圧に覆われて晴れる時期がありますが、台風の影響を受ける可能性もあります。</p> <p>8月: 気温は平年よりやや高い予想です。強い日差しが照りつけ暑い日が多くなります。台風が接近するような時はかなり蒸し暑く感じられそうです。夜間も気温が下がりにくく、寝苦しい日も続きます。こまめに水分を補給するなど熱中症対策をしっかりと行ってください。</p> <p>9月: 気温は平年並の予想です。台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、蒸し暑い日が多くなりそうです。</p>

※本見解の対象期間は7月～9月としています。